

令和 7 年 1 2 月

農 業 委 員 会
総 会 議 事 録

令和 7 年 1 2 月 5 日

武 雄 市 農 業 委 員 会

令和7年12月 武雄市農業委員会「総会」議事録

1. 日 時 令和7年12月5日（金）
（開会）13時25分 （閉会）14時50分

2. 場 所 東川登公民館会議室

3. 農業委員出席状況 出席者19人 欠席者0人

議席 番号	氏名	出席	欠席	議席 番号	氏名	出席	欠席
1	大島 栄	○		11	古川さゆり	○	
2	松尾 初秋	○		12	原田 宗喜	○	
3	松尾 隆博	○		13	松岡 知子	○	
4	岩橋 久美	○		14	井手 広夫	○	
5	中村 和仁	○		15	田栗 由紀男	○	
6	池田 有	○		16	渡邊 千枝子	○	
7	田代 了三	○		17	澤井 富二郎	○	
8	笠原 勝廣	○		18	坂口 友久	○	
9	原口 保徳	○		19	相原 經憲	○	
10	川口 敏広	○					

4. 協議事項

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について	5件
議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について	1件
議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について	6件
議案第4号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名について	
議案第5号 農用地利用集積等促進計画（案）について	
議案第6号 武雄市非農地証明願について	5件
報告第1号 農地形状変更届出について	1件
報告第2号 非農地判断について	

5. 議事内容 以降記載

《開会》

事務局 定刻前ですが、皆さんお揃いのようなので、令和7年12月の農業委員会総会を始めさせていただきたいと思います。

本日は、欠席者なしということで、在任委員の過半数以上の出席となっております。農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定によりまして、本日の総会は成立をいたします。

それでは議事に入りたいと思います。会長、よろしくお願いします。

- 会 長 （農業情勢等の報告等については省略）
ただ今から、令和 7 年 12 月の武雄市農業委員会総会を開会します。
本日の議事録署名人に、8 番 笠原勝廣 委員、18 番 坂口友久 委員を指名
します。
今回は、議案第 1 号から第 6 号までの審議をお願いいたします。
発言される委員の方は、挙手のうえ番号を言って、議長の発言許可を受け
てから、発言をしてください。
それでは、議案審議に入ります前に、事務局から報告事項をお願いします。

事務局 11 月総会審議後の転用許可状況について報告。

- 会 長 事務局から報告がありましたが、皆様からお尋ね等ございませんか。

 （質疑なし）

会 長 特にないようでございますので、議案審議に入ります。

《議案第 1 号 農地法第 3 条 許可申請》

- 会 長 議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請を議題といたします。
農地法第 3 条の規定による許可申請が 5 件提出されています。
この議案について、事務局からの説明をお願いいたします。

- 事務局 議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請についてご説明いたしま
す。
申請番号 1 番、土地は、〇〇町の畑 1 筆、528 平米です。申請事由です。譲
渡人は、高齢で農地として耕作・管理することができない。譲受人は、父の
所有する農地と隣接しており、併せて耕作するという事で、農地の価格は
10a 当たり〇〇円となっております。
申請番号 2 番、土地は、〇〇町の田 1 筆、384 平米です。申請事由です。譲
渡人は、県外に居住している為、耕作・管理ができない。譲受人は、自宅に
近く耕作・管理がしやすいということで、農地の価格は 1 筆で〇〇円です。
申請番号 3 番、土地は、〇〇町の田 2 筆、887 平米です。申請事由です。譲
渡人は、市外に居住している為、耕作・管理ができない。譲受人は、購入す
る住宅の前であり、耕作しやすいということで、住宅と畑を同時購入される
ということです。
申請番号 4 番、土地は、〇〇町の畑 1 筆 194 平米です。申請事由です。譲
渡人は、市外に居住している為、耕作・管理することができない。譲受人は、

住宅と畑を同時購入し、野菜を作るということで、住宅と畑を同時購入されます。

申請番号 5 番、土地は、〇〇町の田 3 筆、2,903 平米です。申請事由です。譲渡人は、市外に居住している為、耕作・管理することができない。譲受人は、自宅に近く耕作しやすいということで、農地の価格は 1 筆で〇〇円となっております。

以上 5 件につきまして、農地法第 3 条許可の判断基準を満たしていると判断いたします。事務局からの説明は以上です。ご審議のほどよろしく願いいたします。

会 長 議案の説明が終わりました。この 5 件について、地元委員さんからの補足説明があれば、その説明を受けてから質疑に入りたいと思います。地元委員さん、何かございませんか。

会 長 それでは、質疑を始めます。ご意見、ご質問等、何かございませんか。

(質疑なし)

会 長 質疑も無いようですので、質疑をとどめます。議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請 5 件について、許可することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

会 長 異議なしと認めます。よって、議案第 1 号 農地法第 3 条の規定による許可申請 5 件については、許可することに決しました。

————— 《議案第 2 号 農地法第 4 条 許可申請》 —————

会 長 議案第 2 号 農地法第 4 条の規定による許可申請を議題といたします。
農地法第 4 条の規定による許可申請が 1 件提出されております。
この議案について、事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第 2 号 農地法第 4 条の規定による許可申請です。

申請番号 1 番、土地は〇〇町〇〇の田 1 筆 159 平米、畑 1 筆 73 平米、合計 2 筆の 232 平米です。申請事由は、高齢になり農作業への労力もなくなり、山林として管理したいということで、クヌギを植林される予定となっております。別冊の付近見取り図の 3 ページをご覧くださいますと、申請地の上空に、電線が架かっているということで、電線の部分が大体 90 平米あるということで、この部分にはクヌギを植えられないということで、ここを含まずにクヌギを植林されるということです。植林の完了時期は令和 8 年 3 月を予定されております。

農地区分の該当事項と許可基準の該当事項は、議案書記載の通りとなります。

事務局の説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

会 長 事務局の説明が終わりました。
地元委員さんから補足説明をお願いします。その説明を受けてから質疑に入りたいと思います。〇〇委員お願いいたします。

〇〇番 3条申請の方は聞いていたんですが、〇〇さんがクヌギを植えて管理されるってことでしょう。

事務局 事務局の方で聞いていた内容ですが、今回、3条と4条、非農地証明願も出ているんですが、将来的には、〇〇さんから〇〇さんに農地を一切、管理をお願いしたいということでした。一旦、〇〇さんが4条で申請をされて、山林に変えた後に、〇〇さんに譲りたいという意向をもっておられるみたいでした。

会 長 地元委員さんの説明が終わりましたので、質疑を開始します。
何かございませんか。

〇〇番 質問ですが、普通は植林というのは杉とか檜を植えますよね。それでクヌギというのは、枝打ちとかをしなくていいんですかね。要するに、高齢で農業が出来ないということで。クヌギだったら、何も手が掛からないのか、そのあたりをお尋ねしたい。

椎茸の原木は放っておいてよいつてことね。それだったら、一番、理由が立つね。成長が早いから、枝打ちもしなくていいのね。家の傍は駄目と。

会 長 他にございませんか。

(質疑なし)

会 長 質疑もないようでございますので、質疑をとどめます。議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請1件については、「本委員会としては、許可しても差し支えない」との意見をつけて、佐賀県知事送ることに異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

会 長 異議なしと認めます。よって、議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請1件については、「本委員会としては許可しても差し支えない」との意見を付けて、佐賀県知事に送ることに決しました。

《議案第 3 号 農地法第 5 条 許可申請》

会 長 議案第 3 号 農地法第 5 条の規定による許可申請を議題といたします。
農地法第 5 条の規定による許可申請が 6 件提出されております。
この議案について、事務局の説明をお願いします。

事務局 議案書 4 ページ以降になります。

議案第 3 号 農地法第 5 条の規定による許可申請です。

申請番号 1 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の田 4 筆 643.19 平米となっております。申請事由は、土地を探していた
ところ、申請地は宅地分譲として最適の場所であり、所有者からは売買の快
諾を得られているということです。用途地域内の農地ということになります
ので、例外的に宅地分譲ができる農地となり、宅地分譲 3 区画で申請されて
います。工事完了時期は令和 8 年 7 月末を予定されております。

申請番号 2 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の田 1 筆、982 平米です。申請事由は、申請地付近で店舗を新築する場所
を探していたが、適当な土地が見つからず、申請地以外に希望に沿う土地が
なかったということで、〇〇様の店舗及び駐車場を計画されています。こち
らは農振地でしたが、農振除外は済んでおります。工事完了時期は
令和 8 年 12 月 31 日の予定です。

申請番号 3 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の畑 1 筆 222 平米です。申請事由は、譲渡人は農業に従事した経験がな
く、相続した申請地の処分を行うことにした。譲受人は市内での住宅ニーズ
に合わせて新規の住宅の供給を行いたいということで、今回の申請に至った
ということです。こちらも用途地域内の農地ということで、宅地分譲 1 区画
を予定されています。工事完了時期は令和 8 年 5 月末を予定されております。

議案書 5 ページです。

申請番号 4 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の畑 1 筆 225 平米となっております。こちら、申請番号 3 番の近くの農
地でありまして、別冊の付近見取図の 11 ページ、道を挟んで向かい側の三角
の部分、〇〇番が申請番号 4 番になります。こちらについても、譲受人は〇
〇さんでありまして、申請事由も 3 番と同じ形です。同じく用途地域内の農
地ということで、宅地分譲を 1 区画予定されております。工事完了時期は令
和 8 年 5 月末を予定されています。

申請番号 5 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の畑 1 筆 339 平米となっております。こちらも用途地域内に入っており
まして、宅地分譲が例外的に許可できる農地ということで、1 区画の分譲を予
定されています。工事の完了時期は令和 8 年 5 月末となっております。

申請番号 6 番、権利の内容は所有権移転となっております。土地は〇〇町
〇〇の田 1 筆 715 平米となっております。申請事由は、譲渡人は、小作で水
稲の作付をしてもらっていたが、水漏れで作付けができなくなり、草刈り等

の維持管理を行っていたが、高齢化に伴い、手放すことを決めた。譲受人は、子どもの成長で現在住んでいる官舎が手狭になり、子育ての環境を考え、住宅の建設を計画したということで、一般住宅を予定されています。工事完了時期は令和8年10月末となっております。

農地区分の該当事項と許可基準の該当事項は、議案書記載の通りとなります。

事務局の説明は以上です。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

会 長

事務局の説明が終わりました。

地元委員さんから補足説明をお願いします。その説明を受けてから質疑に入りたいと思います。5条1番、2番を〇〇委員、3番、4番を〇〇委員、5番を〇〇委員、6番を〇〇委員でお願いいたします。

1番、〇〇委員、お願いいたします。

〇〇番

1番の場所は、ちょうど〇〇の〇〇山に行く所の県道沿いにありまして、草刈り等の管理はされていましたが、耕作はずっとされていませんでした。譲渡人のお二方は姉妹さんでして、親からの世情分けて、この土地を貰ったということで、何ら問題のない所でした。用途地域内の農地ということでもありますし。

2番は農振除外されておりまして、ここだけポツンと残っている所で、今年まで耕作されておりました。別に問題ないと思い、確認印を押しました。

〇〇番

3番、4番は相続ということで説明がありましたけれども、両方とも用途地域内の農地、畑であって、前はお父さんが百姓をされていました。息子さんは、ほとんどされていないと思います。用途地域内の農地でありますので、何ら問題ないと思います。以上です。

〇〇番

5番ですが、場所は、〇〇の北の方になります。別に問題ないと思い、印鑑を押しました。

〇〇番

6番です。場所は、国道からちょっと入った所の土地になっています。周りには住宅が何軒かあって、隣は田んぼで、今も作られています。陽当たりが悪くならないように、住宅も平屋で建てる計画になっているそうです。何も問題がないと思いましたので、印鑑を押しました。

会 長

ありがとうございました。

地元委員さんの説明が終わりましたので、質疑を開始します。

何かございませんか。

〇〇番

セットバックとは何ですか。

事務局 建築基準法で敷地に家を建てられるかどうかというのを判断する際に、緊急車両とかの乗り入れができるように、幅を4m以上とってくださいという法律があります。今現状の道路が4mないので、敷地の一部分を道路の敷地として、整備をしてくださいというのがあります。道路の一部として整備して、道路になりますよっていう。今現状の、境界からちょっと後退する、セットバックっていう、いわゆる、後退。

会 長 他に質疑ございませんか。

(質疑なし)

会 長 質疑もないようでございますので、質疑をとどめます。議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請6件については、「本委員会としては、許可しても差し支えない」との意見をつけて、佐賀県知事送ることに異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

会 長 異議なしと認めます。よって、議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請6件については、「本委員会としては許可しても差し支えない」との意見を付けて、佐賀県知事送ることに決しました。

《議案第4号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名について》

会 長 議案第4号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名について、を議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

事務局 議案第4号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名について、ご説明いたします。議案書6ページになります。

説明に入ります前に、議案の訂正をお願いいたします。あっせん申出者の②の〇〇さんについては、取り下げとなりましたので、①の〇〇さんだけの案件となりますので、訂正をお願いいたします。

それでは、農地の所有者から農地売買等特例事業に係る農用地の売り渡しの申し出があり、武雄市農地移動適正化あっせん事業実施要領第4条第8項の規定により、あっせん委員を次のとおり指名したいので農業委員会の議決を求めるものです。

あっせん申出者の住所・氏名及びあっせん申出農用地等の所在・地目・面積は記載のとおりです。

あっせん委員は農用地の地元委員である坂口友久委員、中原位委員を指名したいと思います。

事務局からの説明は以上です。よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

会 長 それでは〇〇町〇〇の 1,540 平米の農地について、あっせんを通したいということでございます。

議案第 4 号について、質疑を開始します。何かございませんか。

(質疑なし)

会 長 それでは、他に質疑等も無いようでございますので、議案第 4 号の質疑をとどめます。

議案第 4 号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名については、坂口友久農業委員と中原位推進委員を指名することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

会 長 異議なしと認めます。

よって議案第 4 号 農地移動適正化あっせん事業に係る委員の指名については、坂口友久農業委員と中原位推進委員を指名することに決しました。よろしくお願いいたします。

皆様はあっせんのご存じだと思いますけども、中間管理機構を入れてあっせんをするわけですけども、中間管理機構入れますと、売り手は 800 万までの控除を受けられます。また、登記を中間管理機構がしてくれるという。そういうときは手数料 1.5%ですね。入れたらそういうふうな特例があるということで。しばらくあっせんがなかなかなかったんですけども、北方はよくあつてましたけど、この頃、また出てきたなと思っておりませんが、そういう制度でございますので、農業委員さんも、もしそういう売買とかあった場合は、今から買う方が認定農業者であることはもちろんですが、規模拡大をしたりとか、意欲のある方に売の場合は、そういうあっせんという事業がありますよっていうようなのを。買い手がそういう方だったら、そういうあっせんっていう事業もありますよ、ということをお勧めしていただいてもいいのかなと思います。

〇〇番 下限面積があったよね。

事務局 武雄地区が 106 アール、山内地区が 93 アールで北方地区が 160 アールです。経営面積の下限面積です。

—————《議案第 5 号 農用地利用集積等促進計画（案）》—————

会 長 議案第 5 号 農用地利用集積等促進計画（案）について、を議題といたします。

この議案について、事務局の説明をお願いいたします。

資料は別冊です。

事務局 議案第 5 号 農用地利用集積等促進計画（案）について、ご説明いたします。農地中間管理事業の推進に関する法律第 18 条第 3 項の規定により、農業委員会の意見を聴取するものです。

1 ページをご覧ください。こちらに「令和 7 年度第 9 号利用集積等促進計画（案）」を記載しています。

2 ページをご覧ください。こちらに内訳を記載しています。

全体の合計といたしましては、田、新規 3 件、3 筆、4,205 平米。再設定 18 件、32 筆、37,953 平米。

畑、再設定 1 件、4 筆、8,405 平米、となっております。

3 ページ以降に各町の詳細を記載しています。

また、利用権設定解除については、15 ページ、16 ページに記載をしておりますのでご確認ください。

以上、農地中間管理事業の推進に関する法律第 18 条第 5 項の要件を満たしていると考えます。ご審議のほどよろしく申し上げます。

会 長 事務局の説明が終わりました。議案第 5 号について、質疑を開始します。何かございませんか。

〇〇番 〇〇町の 2 番、10a 当たり 3 万円、お茶園でしょう。

事務局 4 筆で 3 万円です。訂正をお願いします。

会 長 他にございませんか。

（質疑なし）

会 長 それでは、意見もないようでございますので、議案第 5 号の質疑をとどめます。議案第 5 号 農用地利用集積等促進計画（案）について、原案のとおり「意見なし」と回答することに異議ございませんか。

（「異議なし」の声多数あり）

会 長 異議なしと認めます。よって、議案第 5 号 農用地利用集積等促進計画（案）については、原案のとおり「意見なし」と回答することに決しました。

《議案第 6 号 武雄市非農地証明願申請》

会 長 議案第 6 号 武雄市非農地証明を議題といたします。
このことについて、5 件の証明願が提出されています。

この議案について、事務局から説明をお願いします。

事務局

議案第 6 号 武雄市非農地証明願についてご説明いたします。

資料は、議案書 7 ページからになります。

申請番号 1 番、土地は〇〇町の畑 1 筆 153 平米です。農地でなくなった時期及び原因は、圃場整備前から里道として利用していたが、換地処分により、地目が畑となっていたということで、非農地証明事務処理要領の該当事項 5 号に該当するものと判断しております。

申請番号 2 番、土地は〇〇町の畑 1 筆 2,543 平米です。みかん畑であったが、傾斜のきつい段々状の畑で収益も上がらず、平成元年頃に廃園して杉の木を植林したということで、こちらも 5 号に該当するものと判断しております。

申請番号 3 番、土地は〇〇町の畑 1 筆 1,507 平米です。平成 17 年以前は茶畑として利用していたが、その後、栽培をやめて山林となってしまったということで、非農地証明事務処理要領の第 4 号に該当するものと判断しております。

申請番号 4 番、こちらも 3 番と同じ方です。土地は〇〇町の畑 1 筆 191 平米です。昭和 54 年頃から建物の敷地の一部として使用しており、現在に至るということで、非農地証明事務処理要領の第 5 号に該当するものと判断しております。

申請番号 5 番、土地は〇〇町の畑 55 平米です。平成 5 年頃に住宅が建てられてから、敷地の一部として利用しているということで、非農地証明事務処理要領の第 5 号に該当するものと判断しております。

事務局からの説明は以上です。ご審議のほどよろしく願いいたします。

会 長

事務局の説明が終わりました。議案第 6 号について、地元委員さんから補足説明があれば、その説明を受けてから質疑に入りたいと思います。地元委員さん、何かございませんか。

〇〇番

1 番です。昭和 49 年頃に圃場整備をしているわけです、〇〇が。その時、里道という形であったわけです。〇〇さんの 1 区画は、全て〇〇さんの持ち物に換地で変わったわけです。里道があった分を畑にもってきてある。元々、道路として利用している。それを畑で換地処分している、そういう事情です。別に問題ありません。以上です。

会 長

他にございませんか。

〇〇番

5 番ですが、ここも、もう 40 年以上前に圃場整備が終わってしまっていて、そういうさっきおっしゃられたように、本当にもう畑の状態ではなくて、農地合わせみたいな感じで、換地処分によって、そういうふうになったんじゃないかなというような土地でございます。

それから東側の方に田んぼがありまして、そこと繋がっていましたので、そこを分筆するということで、分筆して、非農地を出すということで印鑑を押しております。

会 長 他にございませんか。

〇〇番 4番は書いてあるとおりですけど、3番は元々トラックも入っていかないような土地で、お茶を作っていましたけども。今はもう歩いても入っていけないような所になっています。以上です。

会 長 他にございませんか。

(質疑なし)

会 長 それでは質疑も無いようですので、質疑をとどめます。
議案第6号 武雄市非農地証明5件につきまして、原案どおり証明することにご異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数あり)

会 長 異議なしと認めます。よって、議案第6号 武雄市非農地証明5件については、原案どおり証明することに決しました。

《報告第1号 農地等形状変更届》

会 長 次に報告第1号 農地等形状変更届について、1件提出されています。
この件について、事務局から説明をお願いします。

事務局 報告第1号 農地等形状変更届出について、ご説明いたします。
土地は〇〇町の田5筆400.49平米です。変更理由は、田を畑として利用するためということで、変更の時期は令和7年12月15日から令和8年9月1日を予定されています。嵩上げの高さは0.78m、土量は318.3立米。変更後の利用計画は、野菜を作られる予定となっております。以上、1件報告させていただきます。

会 長 事務局の説明が終わりました。この件について、地元委員さんから補足説明があればお願いいたします。
〇〇委員。

〇〇番 今、〇〇公民館が新しく出来ていますけれども、そこのすぐ前のところ、入り口の所です。ちょっと狭くて。いわゆる、前は、学習田で、貸してあつ

たけど、今はもうちょっと何もできないということで、畑にしたいという要望でありましたので、推進さんと一緒に行って、確認しました。

会 長 地元委員の説明が終わりました。報告第 1 号について、ご意見、ご質疑等があれば出していただきたいと思います。何かございませんでしょうか。

(質疑なし)

会 長 それでは、他に意見も無いようですので、報告第 1 号の質疑をとどめます。

《報告第 2 号 非農地判断》

会 長 次に報告第 2 号 非農地判断について、を議題といたします。
事務局の説明をお願いします。

事務局 それでは、非農地判断についてご説明いたします。

非農地判断結果一覧表で、ここにありますように今回は、武雄町大字武雄を対象としておりまして、417 件を送るようになっております。調査につきましては 4 月 15 日～17 日で、大島委員、松尾初秋委員、山口推進員、山田推進員の 4 名で回っていただきました。ここにつきましては、非農地対象とした所、455 件抽出しておりまして、その内の 417 件を非農地判断を出すようになっております。以前も申しましたように、この用地につきましては、地目は宅地及び状況が宅地に隣接する農地を除きまして、林野化した田畑を対象としています。航空写真で、山林・原野と判断できるものが 167 件、現地を確認してもらうのが 288 件ありまして、それを調査していただきました。

表の中央の方にありますように、そこに判断結果というところで、原野か山林かを示しております。山林が 49%、原野が 47%、農地が 4%という結果でございました。中央の方にあります農振区分、これにつきましては注意を払ってもらっていただいたところでございます。結果、農振除外するものにつきましては、来年度、農林課の方で取りまとめて、見直しを行うということであります。

あと、農林課で補助があります中山間や多面、ワイヤー、電柵等の補助金ですね。この分についても、確認をしております。対象となったのが、電柵の分が来年度までで終了という形の部分が何件かありましたが、影響がないということです。

それと非農地通知につきましては、163 名の方に通知をいたしまして、1 ヶ月間、猶予をもちまして、郵便物が届かなかったものが 21 件、届かなかったものもあります。その分を除いたところでの、417 件になっております。

あと嘱託登記につきましては、法務局に橘町が 174 件、朝日町大字甘久が 83 件、武雄町大字富岡・永島を 110 件申請し、完了するところです。

朝日町大字中野につきましては、9月1日に送っておりまして、11月19日現在で320件の登記が完了しておりまして、残りの分が1月下旬ぐらいまでには済むのかなというふうに思いますので、その後、この大字武雄の分を送るようにしています。

今後の予定につきまして、法務局で大体、月70件程度の登記完了というふうになっておりますので、それで計算していたところ、大字武雄の分を逆算していくと、3月ぐらいまでに、次の分の調査が済んでもらわないといけないというような結果になりました。それで武内町、若木町が次の順番になるんですが、武内町大字梅野が540件、それと真手野が2,880件ということになっております。梅野が736件、真手野が1,500件、若木町本部が1200件、川古が1200件ということであります。以前、対象を探してもらった分から2倍から3倍に増えておりますので、ちょっと件数が増えております。その中でも一番少ないのが、大字梅野が700件の方になりますので、今回は、武内町大字梅野を先にさせていただきまして、次が、真手野の1500件という多いので、若木町の大字本部の方に次は入ってという形で、順番を武内町大字梅野、若木町大字本部、武内町大字真手野、若木町大字川古の順番で行こうかなというふうに思っておりますので、帰りにすいませんけど、説明したいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

会 長 事務局の説明が終わりました。報告第2号について、ご意見、ご質疑等ありませんか。

(質疑なし)

会 長 それでは、他に意見も無いようですので、報告第2号の質疑をとどめます。

————— 《 閉 会 》 —————

会 長 それでは以上をもちまして、本日、準備された議案につきましては、すべて終了しました。これをもちまして、令和7年12月の農業委員会総会を終わります。